

地域とつなぐ一言日記帳 症例紹介

～Aさんと夫のコミュニケーションをつなぐ～



地域とつなぐ
一言(ひとこと)日記帳
～わたしらしく生活するために～



福岡県がん対策推進協議会



Aさんは夫と2人暮らし

Aさんは、膵臓がんで抗がん剤をうけている
悪化していくAさんの状況に、夫の不安が強い
Aさんは夫のことをいつも心配していた

大好きな音楽やお花に囲まれて穏やかに過ごしたいと
強く願っていた

Aさんは「自分の最期は自分で決める」と医療者には話していたが
夫と話し合いができていない

「もしもの話は夫の不安が増す。少しずつ小出しにして話したい」と
話された

最期を入院でも、家でも、希望にあわせて選べるように準備した

○月△日退院

地域とつなぐ一言日記帳活用開始

夫はAさんの状態やご自身の思いを日記帳に記録した

訪問診療医や訪問看護師は、Aさん宅を訪問時、日記帳をみて

Aさんと夫と困り事について、より良い方法を話し合った

また《わたしが大切にしたいこと》のページにAさんの思いを記載し

夫との話し合いの手助けになるよう働きかけた

わたしが大切にしたいこと

あなたが医療・介護担当者に知っておいてほしいと思うことを伝えてください。
お気持ちが変わったら、書き直していただいてもかまいません。

自分らしく過ごすために、ご自分が特に**大切にしたい**と**思っていること**で、医療・介護担当者に知っておいてほしいことはありますか？

例：趣味や生きがい、できるだけ自宅で家族と一緒に過ごしたいなど
大好きなお花や音楽に囲まれて穏やかに過ごしたい。
自分のことは自分で決めたい。

逆に、**これだけはしたくない**、**してほしくない**と**思っていること**で、医療・介護担当者に知っておいてほしいことはありますか？

例：入院はしたくない、痛い検査はしないでほしいなど
きついとき、苦いときはあぐに文おたしてほしい

心配なこと、**気がかりなこと**、**困っていること**はありますか？

例：家族のこと、仕事のこと、お金の心配など。
お腹がぼて、苦い水がある。家に帰るのも少し心配。



○月○日外来

Aさんの体調はさらに悪化していた

Aさんは、抗がん剤を終了することを主治医と話し合って決めた

夫は、入院中のような不安気な様子はなく

「この日記帳を通して、妻とも話し合った。自分の思いを日記帳に綴ることで気持ちが軽くなり、訪問してくれる医療者が自分のことも大事にしてくれている。とても穏やかな気持ちで2人の時間を過ごさせています」と話された

5患者と家族と医療者が書き込む一言(ひとこと)日記

わたし-家族	医療者-介護者
<p>2020年2月25日 夫の体調は、比較的安定している。朝まで寝る。おなかを600回、気持ちよく磨く。朝まで休めたらいいな</p>	<p>訪問看護師記載 「娘さんにはすべて話された様子で“お父さんを支える”とおっしゃったようです」</p>
<p>夫記載 「Aさんモーツァルトを聴く。心穏やかという」</p>	<p>訪問看護師記載 「病院にAさんの希望と体調の変化を伝えていきます」</p>

5患者と家族と医療者が書き込む一言(ひとこと)日記

わたし-家族	医療者-介護者
<p>夫記載 「おなかを600回、気持ちよく磨く。朝まで休めたらいいな」</p>	<p>夫記載 「訪問看護で入浴。夕方ぐっすり眠る。Aさんホスピスを希望」</p>
<p>夫記載 「Aさんモーツァルトを聴く。心穏やかという」</p>	<p>訪問看護師記載 「病院にAさんの希望と体調の変化を伝えていきます」</p>

地域とつなぐ一言日記帳はご夫婦そして、医療者との
コミュニケーションツールとなり、また、ご主人の気持ちの整理に
つながったようです

Aさんらしい時間を過ごすことができました



訪問看護師さんより

ご主人の想いを拝見することができ、看護に活かすことができました
お二人で過ごされた思い出を言葉に残すことで、様子が
よく伝わりました

家に帰ってこられて、良かったなあと感じています



